策定委員会（１２月１６日）での意見・要望について

１　地域での支援体制の構築

計　　画　　案	策定委員会での意見・要望
（１）基本的な考え方（Ｐ１） 福祉サービスを必要とする人も自分たちも同じ地域社会を構成する一員であるという意識を持ちながら，地域住民や行政，事業者がともに協力・連携するなかで，保健・医療・福祉などのサービスについて，気軽に相談を受け，サービスに関する情報を提供することができるよう，地域での支援体制の整備を進めます。	・「福祉サービスを必要とする人も」とあるが，福祉サービスを必要とする人をなぜ特定して取り上げたのか。地域社会全体の一員の中でというならばわかるが，障がい者など福祉サービスを必要とする人を取り上げるのは偏見のような気がする。
（３）推進の方向性（Ｐ１） ■若い世代や働き盛りの世代，団塊の世代の活動への参加の促進	・若い世代や働き盛りの世代，団塊の世代の活動への参加の促進」は，全くそのとおりと思うが，並列にするとぼけるのではないか。若い世代の参加の仕方，働き盛り世代の参加の仕方，団塊の世代の参加の仕方はそれぞれ違うと思う。
（４）策定委員会・地域懇談会での意見等（Ｐ１） ■高齢者の孤独死，引きこもりなどをどのようにしたら気付いていけるかということも大切ではないか。隣近所の支え合いが一番大事である。	・向こう三軒両隣の基本になるのは隣同士の挨拶で，それから助け合いにつながっていく。どこかにこのような表現が必要ではないか。 ・挨拶については「私達ができること」で「声かけ等により」と触れられているので，そこを具体的な表現にするなどしてはどうか。 ・挨拶については，これまでも意見が出ていたので，「策定委員会・地域懇談会での意見等」に載せるべきと思った。「隣近所の声かけが一番大事である」という表現が良いと思う。支え合いと同じ意味だと思う。 ・支え合いというのは最近出された地域福祉のキャッチフレーズでもある。

２　住民参加・人材育成の促進

計　　画　　案	策定委員会での意見・要望
（２）現状と課題（Ｐ３） □行政や地域包括支援センターなどの相談窓口へつなげる役割を担う人の確保	・これは人でなくても，例えば，メーリングリストなどでも情報共有できると思う。インターネットなどを活用して情報交換できればいいと思う。
（６）地域ができること（Ｐ４） ●地域住民にとって魅力のある活動となるような工夫をする。	・極めて抽象的というか，心構え的な表現になっていて，他の項目とは性質が違うと思う。 ・住民の皆さんがこれをみて，イメージできなければ意味がない。飾り文句になってしまう。表現を具体的にしなければならない。

３　活動団体の連携体制の構築

計　　画　　案	策定委員会での意見・要望
（６）地域ができること（Ｐ６） ●地域の中で地域包括支援センターを中心とした保健師・かかりつけ医等のつながりをつくる。	・保健師は今でも手薄で，訪問できない状況であるのに，計画に載せたらやらなければならなくなると思う。保健所の保健師をどんどん出していかなければならなくなる。だから，計画に載せること自体に無理がある。
●個々の団体で対応できない課題は，他の団体と連携して解決策を見出していく。	・もう少し具体的にして欲しい。
（７）行政ができること（Ｐ６） ●従来の町会，民生委員・児童委員を主体とした活動に加えて，ボランティアやＮＰＯ，サービス提供事業者，地域包括支援センターなどが連携した，新しい地域活動の展開を支援する。	・大変重要だと思うが，具体的にできるのかといえば難しいと思う。また，実際にどのようなことを行政がするのか見えない。もっと具体化できることを進めて欲しいということを要求しておく。 ・(統合により削除された)「地域での交流会開催の場の提供など，活動団体同士の連携を進める」と「ボランティアなどの関係団体との連携，ネットワークづくりを進める」については，取り組みが進んだのか。進んでないのであれば，また同じようなことをやると書いても期待できない。今までできなかったことをまたやると書くよりも，できることをやるといった表現にして欲しい。何か考えていただきたいという要望である。

４　情報の共有化の促進

計　　画　　案	策定委員会での意見・要望
（２）現状と課題（Ｐ７） これまで，「引きこもり」や「閉じこもり」などの生活課題に対して，民生委員・児童委員や事業者などが，個々の立場で対応することがほとんどですが，それでは，対応の仕方にも限界があることに加え，対応者の負担の増大にもつながるなどの課題があります。 複雑化・多様化した地域の生活課題を解決するためには，地域福祉の推進に大きな役割を担っている町会，民生委員・児童委員，関係団体や事業者と行政それぞれが持つ情報を共有することにより，サービスを必要とする人に対して迅速かつ適切に，きめ細かなサービスにつなげる体制が求められています。	・「複雑化・多様化した地域の生活課題を解決するためには」から最後にかけて文章の流れがつながらない印象を受けるので，精査をしていただきたい。
（５）私達ができること（Ｐ７） ●日頃から健康づくりに関心を持つ。	・情報の共有化との関連が理解しにくい。 ・同じような項目が「６　意識の醸成」にもあるので整理したほうが良いのではないか。

５　地域資源の活用

計　　画　　案	策定委員会での意見・要望
（３）推進の方向性（Ｐ９）	・子育て支援の社会資源についても十分ではないが展開されてきている。それを地域でつないでいくことにより，そういう分野のテーマも「推進の方向性」の中に何らかの形で含むことはできないか検討いただきたい。
その他	・小学校や学童保育など，放課後の子どもとの付き合いについて項目に加えてはどうか。 ・子育て支援について「策定委員会・地域懇談会での意見等」の中の「子育ての拠点があれば良い」と「地域ができること」あたりに載せた方が良いと思う。そうして，当然，「行政ができること」として子育てに対する支援はしていただけると思う。

その他全体に関する意見・要望

・計画の中に子育て支援の考えも含んでいるのであれば，そういった表現をもう少し多くしていただければ，子育て中の母親でもわかりやすいのではないか。 ・どこでも良いので，熱くさせるような表現を考えてほしい。要望である。